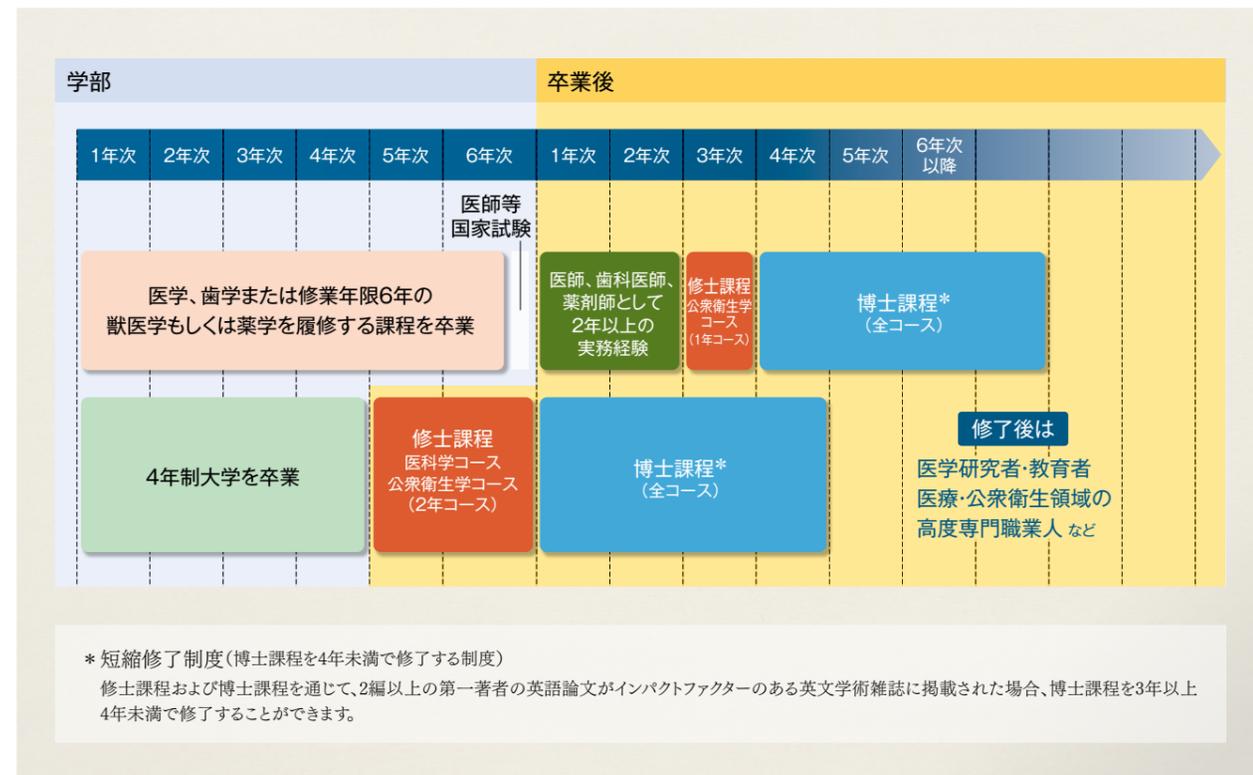


# 修了後の進路

修士課程修了後、大学院博士課程への進学あるいは就職という二つの進路を選択することができます。

## 進学

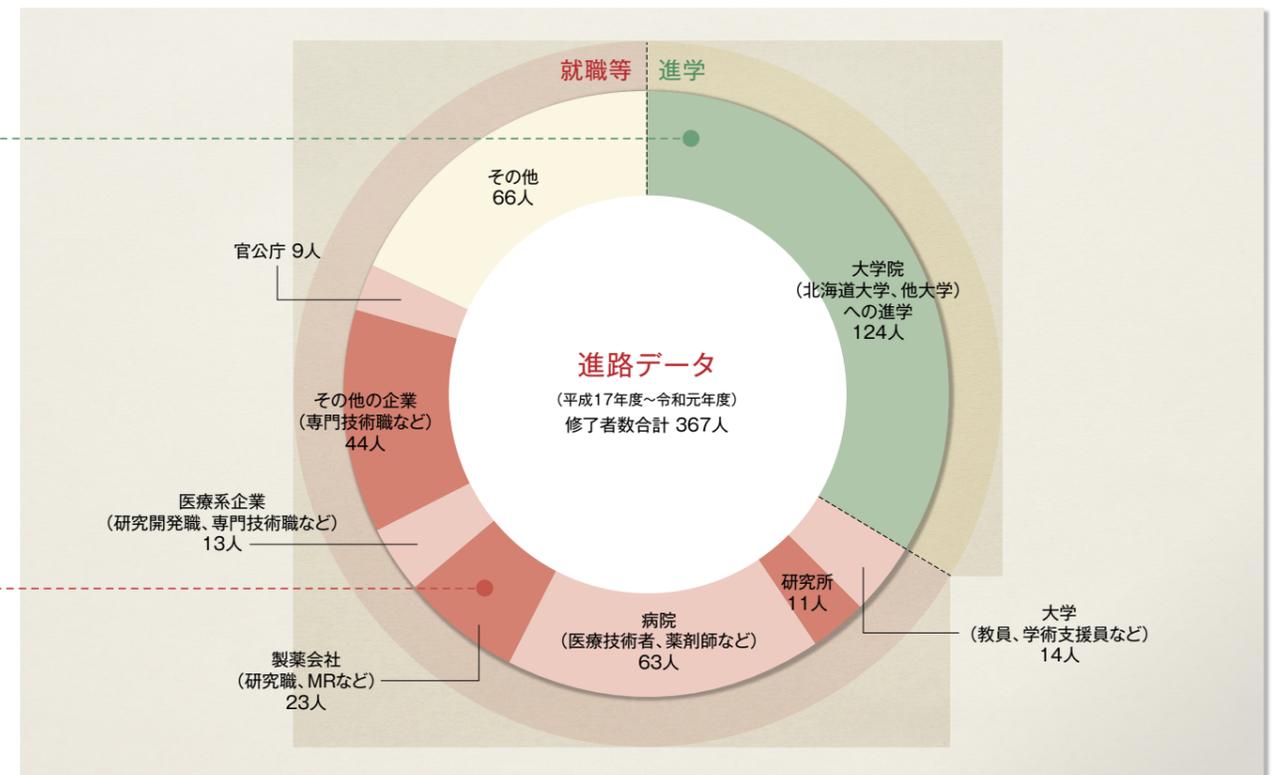
修士課程修了の時点では、研究・教育ともに未完成のため、大学院博士課程に進学することが望まれます。引き続き本医学院博士課程に進学する場合、入学検定料および入学料は不要です。



## 就職

就職先の斡旋は、医学院全体でバックアップします。

就職先	職 種
高度専門職業人として就職する場合	・医療機関 ・企業 ・官公庁 ・生命科学研究 ・医療機器開発 ・医療／保健行政 ・医薬品開発 ・食品安全開発



### MESSAGE 修士課程修了者からのメッセージ

#### 自分の可能性が現実となる場

修士課程医科学コース/免疫生物学教室(平成29年度修了)  
博士課程基盤医学コース/免疫生物学教室(平成30年度入学)  
[大韓民国]

ハン  
韓 ナヌミ



学部在学中に免疫学の研究に携わり、もっと専門的に研究を行うために修士課程からは北海道大学医学院免疫生物学教室に進学しました。修士課程の間は悪性黒色腫における新規サイトカインIL-34の役割について研究を行いました。論文報告や学会発表などの成果から研究にもっと興味を持ち、さらにがんと免疫の関係をより深く探りたいと思い、博士課程に進学しました。

現在は、続けてがんにおけるIL-34発現機序解明や治療法開発のため研究を進めています。まだ少し足りない研究に関する専門知識や技術などを勉強し身に付けて、この分野の専門家として世界へ貢献したいと思っています。

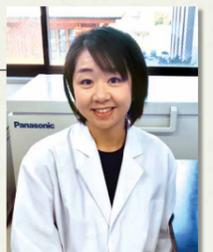
毎日の実験で日々進捗が続くわけではありませんが、何か一つ発見したり良い結果が得られたりする際にはすごくやりがいを感じます。そして先生方や研究室メンバーとのやり取りから、とても恵まれた環境で研究を行っていることも感じています。自分の可能性を見つけない方に大学院課程をお勧めします。

### MESSAGE 修士課程修了者からのメッセージ

#### 医学院での2年間

修士課程医科学コース/免疫生物学教室(令和元年度修了)  
大正製薬株式会社勤務

中野 志保



北海道大学理学部化学科で分子生物学を学んだ後、がんに関するより臨床に近い研究がしたいという考えから、医学院修士課程に進学しました。

研究室では、免疫細胞を利用したがんの治療法である『がんワクチン療法』に関する研究を行いました。臨床を経験した方と接する機会が多いため、臨床応用を意識しながら基礎研究に取り組むことができ、やりがいをもって研究を進めることができました。また、共同研究拠点である遺伝子病制御研究所主催のセミナーでは、さまざまな分野の最先端の研究に触れることで視野が広がり、研究を進めるうえでのヒントを得ることができました。

医学院修士課程の2年間は、皆さんにとっても充実した時間になると思います。